

設問番号	(1)
解答又は 解答例	課税の公平性の意義および必要性に関する理解の程度を評価する。 解答作成上のポイント ● 課税の公平性の意義。特に、担税力に応じた課税であることの記述が必要。さらに、担税力の指標に言及があれば加点する。 ● 水平的公平性の意義。なお、制度上は不公平であっても、税裁定の存在によって事後的に水平的公平が達成される可能性についての言及があれば加点する。 ● 垂直的公平性の意義。具体例の記述（たとえば、所得税における累進税率構造など。）があれば加点する。
出題の意図	租税法の立法・解釈の基礎となる租税原則のうちの課税の公平性に関する理解を問う問題である。

設問番号	(2)
解答又は 解答例	法人税法の課税所得計算における役員給与の取扱いを企業会計との対比で説明できる能力を評価する。 解答作成上のポイント ● 法人税法上の役員の範囲 ● 企業会計基準における役員給与の会計処理 ● 法人税法における役員給与の処理とその趣旨 ● 定期同額給与、事前確定届出給与および業績連動給与の意義・要件
出題の意図	法人税法上の役員給与の取扱い、特に企業会計との相違に関する理解を問う問題である。

設問番号	(3)
解答又は 解答例	必要経費の範囲いいかえれば家事費および家事関連費との相違に関する理解の程度を評価する。 解答作成上のポイント ● 必要経費の範囲の重要性 ● 家事費および家事関連費の意義 ● 必要経費と家事費との境界が不明確な具体例への言及があれば加点する。 ● 必要経費と家事関連費との区別の具体例への言及があれば加点する。
出題の意図	個人事業者の所得計算における必要経費の範囲と取扱いに関する理解を問う問題である。